



**庭木の移転風景**

**解体の時には本館周辺の庭木は当時の職員の方々により移転、仮植され、本館建設後に戻されました。**

**現在の庭木の多くがOBの方々のご苦勞によって今も健在です。**



**現在の本館**



**研修館**

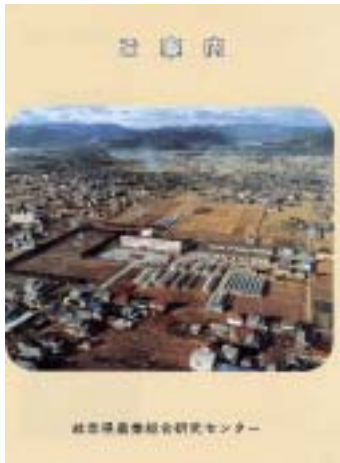
**昭和45年に建設された現在の本館と研修館です。**



**現在の温室群**

**これは木造温室から最新式のアルミ温室に建て替えられた現在も使用されている温室群です。**

**数多く建設され、やや余裕がないようにも見られます。**



**本場(又丸)**



**南濃試験地**



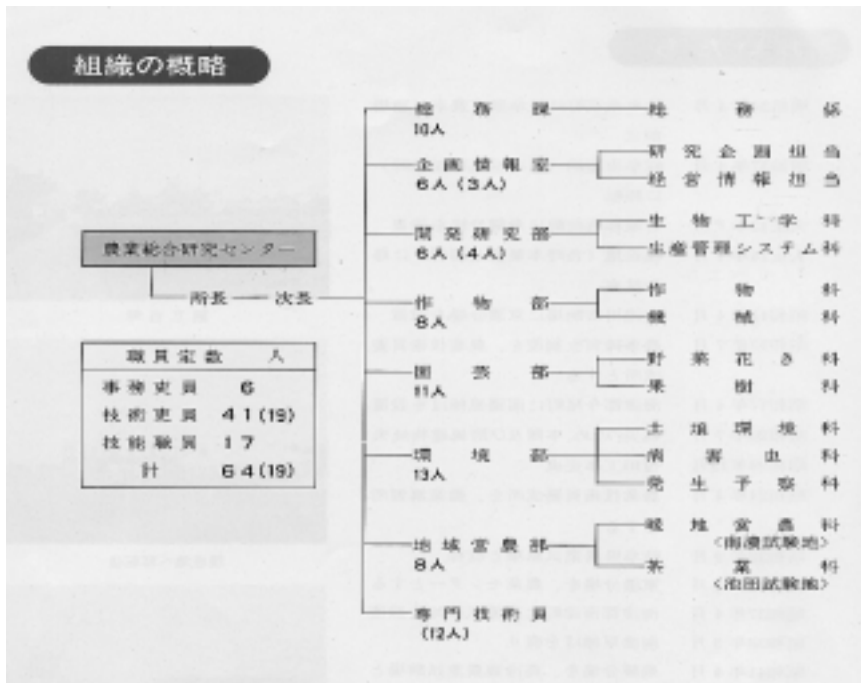
**池田試験地**

**要覧表紙(農業総合研究センター)**

**これは昭和61年に農業総合研究センターに改称された時に作成された要覧です。**

**本場、南濃試験地、池田試験地が各々別冊として作成されています。**

## 組織の概略



組織体制(農業総合研究センター)

農業総合研究センターは農業系 8 試験場の連絡調整の拠点としての位置づけがなされ、企画情報室が設けられました。

研究部門は 5 部、11 科体制で構成されていました。



**マルチメディア工房**

**平成の時代に入り情報関連機器の発達は急速で、研究所にもマルチメディア工房が設置され、関連情報機器が整備されました。**

**ITの時代に合った活用が進められています。**



**農薬の残留分析**

**分析用の機器も高度化され、整備も進められています。**

**これは「ガスマス分析機」を用いて超微量な農薬の残留分析を行っているところです。**



### 肥料成分分析

これも分析を行っている風景ですが、ここでは土壌や作物体の肥料成分の分析を行っています。





**電子顕微鏡観察**

**これは電子顕微鏡を利用して観察を行っている風景です。電子顕微鏡は維持管理を含めてお金のかかる備品ですが、これにより超微細な試料の観察ができるようになりました。**



## 組織培養

平成に入りバイオ関連技術も急速に進んできました。

これは組織培養を行っているところですが、新品種育成や種苗の大量増殖を図る有効な手段です。